

グローバルに攻めるアグリビジネス最前線

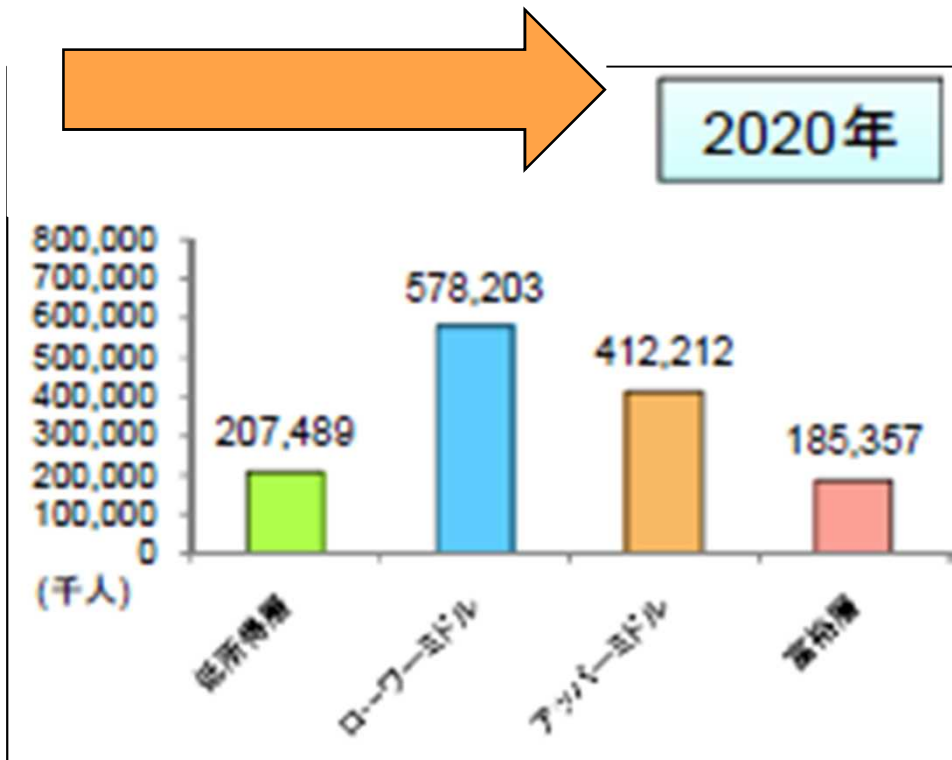
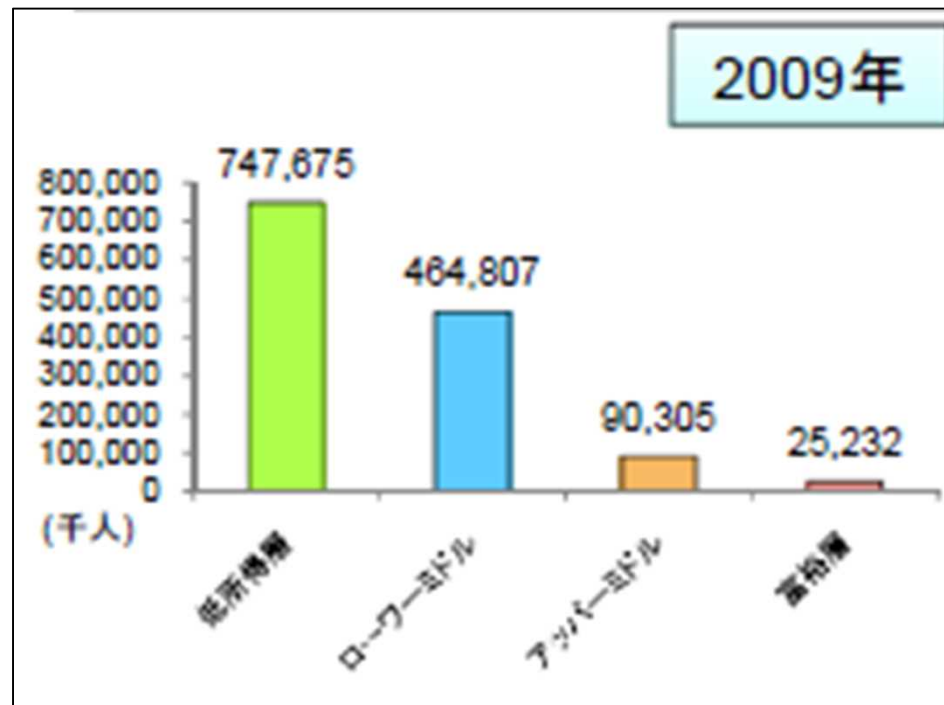
農産物輸出の基礎

(植物防疫法、残留農薬基準、GAP)と
非営利生産者マーケティング組織



- ❁ 2005年まで、三菱商事株式会社 食品本部に勤務
- ❁ 2006年の日本GAP協会の設立に参加し、初代の事務局長
- ❁ 2009年 農林水産省「GAPの共通基盤づくり検討会」委員
- ❁ 2007年(タイ)、2008年(ドイツ)、2009年(マレーシア)
GLOBALGAP大会にて招待講演者
- ❁ 2009年 International GAP forum(北京)にて招待講演者
- ❁ 2011年 ISO/TC34/SC17 ISO22002 一次生産前提条件
プログラム専門分科会 委員(日本)
- ❁ 2012年 日本GAP協会輸出部会 設立
 - ❖ 部会長：日本輸出振興(株)の平賀清一社長(前・ANAロジスティクスサービス社長)
- ❁ 2014年 日本GAP協会 台湾事務所 設立
- ❁ 2015年 アジアGAP総合研究所 設立(予定)

中国の富裕層の推移

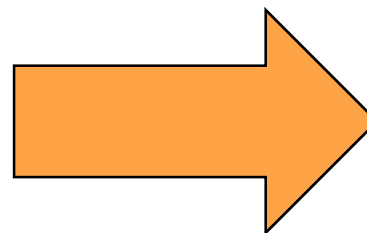


(注) 低所得層: 世帯可処分所得 年間5,000ドル以下
ローワーミドル: 世帯可処分所得 年間5,000ドル超 15,000ドル以下
アッパーミドル: 世帯可処分所得 年間15,000ドル超 35,000ドル以下
富裕層: 世帯可処分所得 年間35,000ドル超

(千人)

出典: JETRO

日本から中国に輸出が許可されている
農産物の品目



- リンゴ
 - なし
 - 茶
 - コメ(条件付き)
- 以上！

中国の植物防疫法が規定

→国境を越えて病害虫が侵入・まん延するのを
防ぐための法律

● 2010 年 10 月 1 日起实施

出典：植物検疫所
平成25年9月

日本の残留農薬基準は世界一きびしいので、
日本の基準をクリアしていれば世界中オッケー？

日本農業新聞

台湾向け

リンゴ輸出黄信号

農水省、産地検査促す

残留農薬基準でズレ

日本と台湾で農作物の残留農薬基準が異なることが原因で、台湾向けに輸出したリンゴが相次ぎ検査不合格となっていたことが分かった。今年に入ってから3件、約35トンが受け入れを拒否された。農水省は台湾に改善計画を提出しているが、今後も違反とされる事態が続けば、台湾向けリンゴの輸出が停止になる可能性もある。同省は出荷産地に対して、残留農薬検査を行うよう促している。

不合格となったのは、殺虫剤のトリフロキシストロビン(商品名「リン」)の検出値が、台湾の基準(0.07ppm)を上回ったこと。農水省は産地流通販売課を通じて、産地に対して検査を促している。台湾では、同一産地から同一品目で6カ月以内に3回の不合格があった場合は、当該産地に改善計画の提出を義務付ける。

2009年5月18日 日本農業新聞

- 台湾に輸出された青森県産リンゴ 2009年1月に1件、2月に2件、計35トン検査不合格
- 台湾の残留農薬基準(不検出)を超えるトリフロキシストロビン検出。
 - 検出値(2月分): 0.05, 0.07ppm
 - 日本の残留農薬基準は3ppmであり、日本での流通は問題なし
- 世界一安全なはずの日本のリンゴが、なぜ台湾で残留農薬基準違反を起こすのか？

そもそも、安全な農産物とは何か？



- ❁ 食品衛生法を遵守している農産物です。
 - ❁ 食品衛生法が定める残留農薬の基準を順守している
 - ❁ 病原性細菌など、食中毒の問題が無い
 - ❁ ガラスなど異物混入の問題が無い
 - ❁ 放射能の基準を順守している(2012年4月～)
- ❁ 食品衛生法を違反した農産物を生産・出荷した場合、販売の禁止(商品回収・出荷停止)・懲役・罰金・などの措置がある

食品衛生法の内容(残留農薬基準)は、「国によって異なる」！

安全な農産物かどうかは、各国の食品衛生法で判断される！

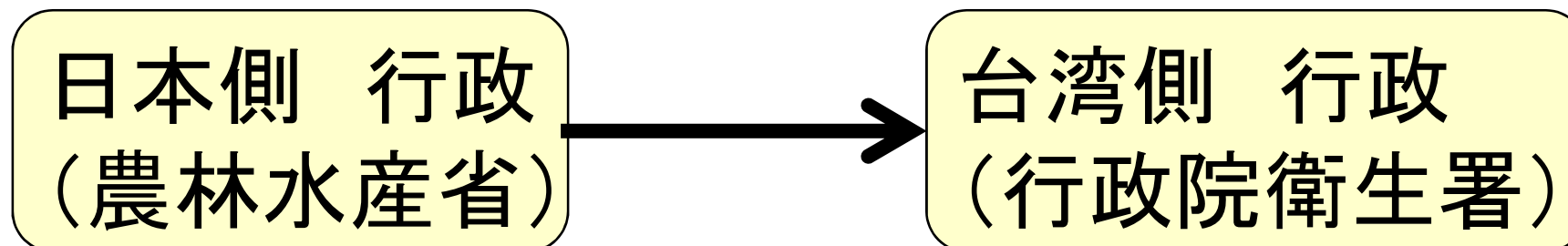
我が国の農薬使用基準は、我が国の食品衛生法の基準を考慮！

農薬を正しく使用していても、海外の食品衛生法は違反するかも！

輸出先の残留農薬基準を考慮して、使用する農薬を決める！

その後、青森のリンゴはどう対応したか？

対応1：行政による対応



- ✪ 行政ルートで台湾の食品衛生法の基準変更を要請
- ✪ 行政ルートで国際基準であるコーデックス基準の採用を要請
- ✪ 今回のリンゴの台湾輸出のケースでは、行政ルートで上記の要請を行ったところ、2009年10月7日告示で台湾側の行政がトリフロキシストロビンの基準を不検出から0.7ppmに変更。青森でのリンゴ栽培で通常使用しているレベルでは違反しなくなった。

その後、青森のリンゴはどう対応したか？

対応2：農場・産地による対応

●青森県農林業関係試験研究情報●

平成25年3月第40号



青森農研フラッシュ

(地独)青森県産業技術センター・農林部門

研究成果

台湾輸出に対応したりんご中・晩生種の 病虫害防除体系の組み立て方

りんご研究所

日本とは異なる農薬の残留基準値を設定している台湾に輸出する際の、りんご病虫害防除体系の組み立て方を紹介します。

台湾輸出に対応した防除体系の組み立て方

- ① 台湾で残留基準値の設定されていないものは使用しない。
- ② 「青森県りんご病虫害防除暦」採用農薬の中から、台湾で残留基準値の設定が不要な農薬、台湾の残留基準値が日本よりも緩いもの、台湾と日本の残留基準値が同じものから優先的に取り入れる。
- ③ 台湾の残留基準値が日本よりも厳しいものは、使用時期を早めるか、使用回数を少なくする。

以上に配慮することで、病虫害を防除でき、しかも台湾の基準値をクリアすることが可能となります。



台湾の店頭に並ぶ青森産りんご

JGAP青果物2010版を導入している農場の輸出対応

6.2.3	必須	適切な農薬を選んでいる (輸出)	輸出用農産物は、輸出先で使用禁止の農薬が定められている場合、それに従っていることを確認できる。 例えば、EU向け輸出ではEC禁止リスト79/117/ECによって禁止している農薬を過去12ヶ月以内に使用していない。
6.6.1	必須	残留農薬の基準を把握している	① 農産物が取引される国の最新の残留農薬基準の情報を入手している、または入手方法を知っている。 ② 農産物が取引される国の残留農薬基準への適合を考慮している。 例えば、必要に応じて農薬を変える、残留農薬検査の結果を活用する、等がある。

台湾で使用禁止になっている
農薬を調べる

使用禁止の農薬を、防除計画
から外す

台湾の最新の残留農薬基準
を入手し、日本の基準と比較

台湾で基準設定されている農薬
を選択・使用

ひとつだけ残る問題

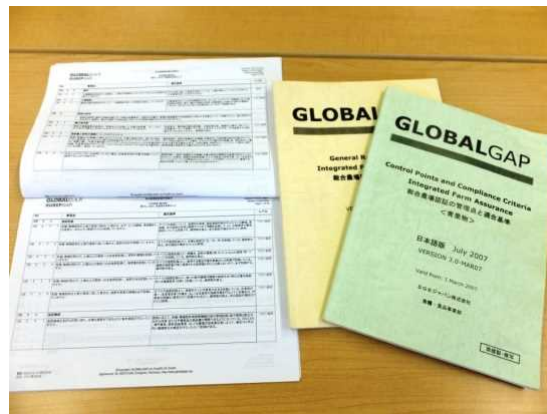
卸が、たまたま仕入れた農産物を、たまたま輸出してしまう場合！

輸出するために、
まずはGLOBALGAP認証を取得すべきである？



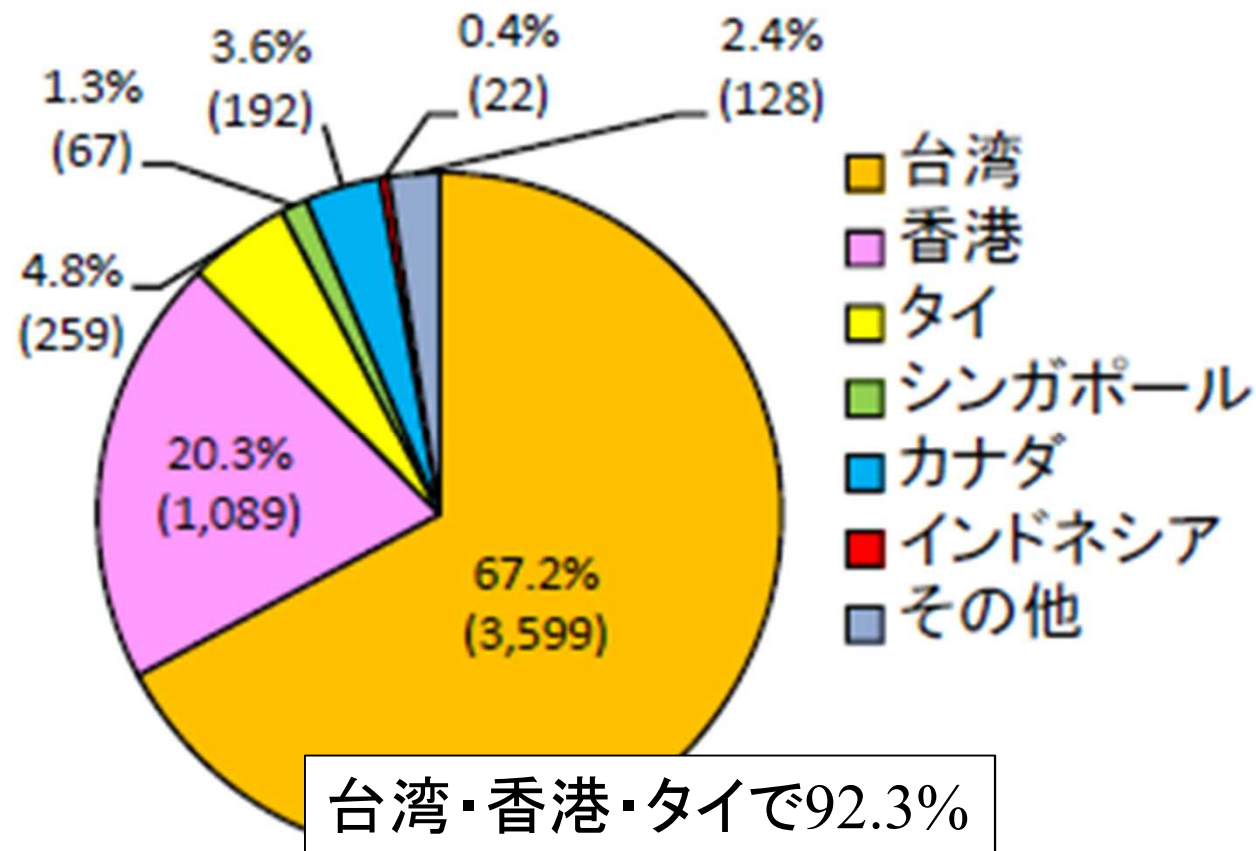
そもそもGLOBALGAPとは何なのか？

- 食品安全などの面から、適切な農場管理の基準GLOBALGAPが定められており、農場が認証を取得。
- ヨーロッパの小売業組合が開発した基準・制度であり、ヨーロッパの小売業を中心に認証取得が取引基準になっている。
- 仕入先(農場・産地)の管理レベルを確認するために利用されている。



では、日本産農産物にも
GLOBALGAP認証が求められるのか？

日本産果実 輸出実績（平成24年）



単位：百万円
出典：農水省資料

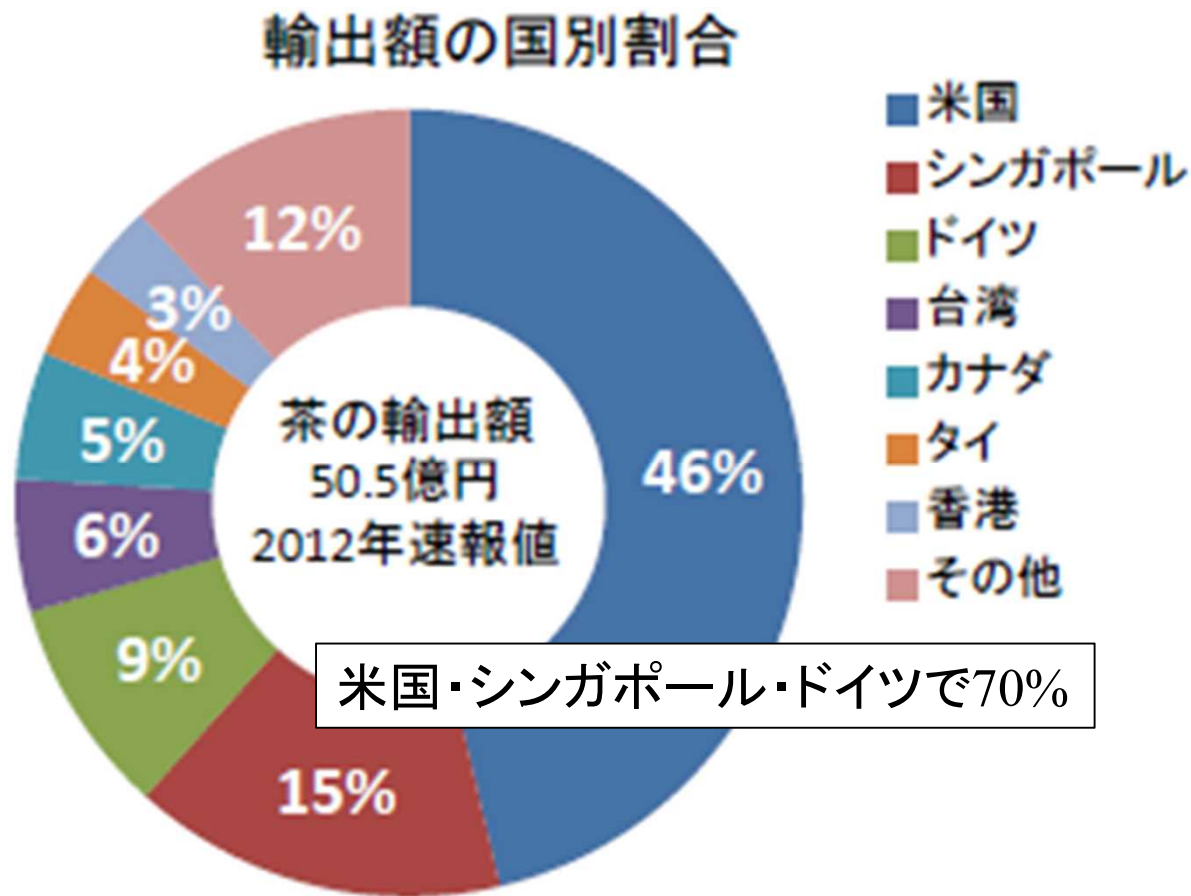
台湾では一般的には**GLOBALGAP**認証は使われていない。

香港は一部企業が中国産のみ**GLOBALGAP**を要求。

GLOBALGAPを要求するバイヤーは9割がヨーロッパの小売業

では、日本産農産物にも
GLOBALGAP認証が求められるのか？

日本産茶 輸出実績(平成24年)



出典:農水省資料

GLOBALGAP認証
のほとんどが野菜と
果実の認証であり、
他の農産物では普及
していない。

茶では**JGAP**認証が
世界で最も普及。

結論: GLOBALGAP
認証の要否は、
どこに、誰に、何を売
るかによる。



The screenshot shows the FDA's official website for the Food Safety Modernization Act (FSMA). The header includes the U.S. Department of Health & Human Services logo and the FDA logo with the tagline "Protecting and Promoting Your Health". Navigation tabs include Home, Food, Drugs, Medical Devices, Radiation-Emitting Products, Vaccines, Blood & Biologics, and Animal & Veterinary. The "Food" tab is selected, leading to a page titled "Food" with a breadcrumb trail: Home > Food > Guidance & Regulation > Food Safety Modernization Act (FSMA).

Guidance & Regulation

- Food Safety Modernization Act (FSMA)
- The Law, Rules & Guidance
- How to Comment on FSMA
- Fact Sheets
- Frequently Asked Questions
- Speeches, Videos, & Webinars
- FDA Actions to Date

Resources for You

- FSMA 101 (a video tutorial)

FDA Food Safety Modernization Act (FSMA)

The FDA Food Safety Modernization Act (FSMA), the most sweeping reform of our food safety laws in more than 70 years, was signed into law by President Obama on January 4, 2011. It aims to ensure the U.S. food supply is safe by shifting the focus from responding to contamination to preventing it.

[Subscribe](#) E-mail Updates

Spotlight

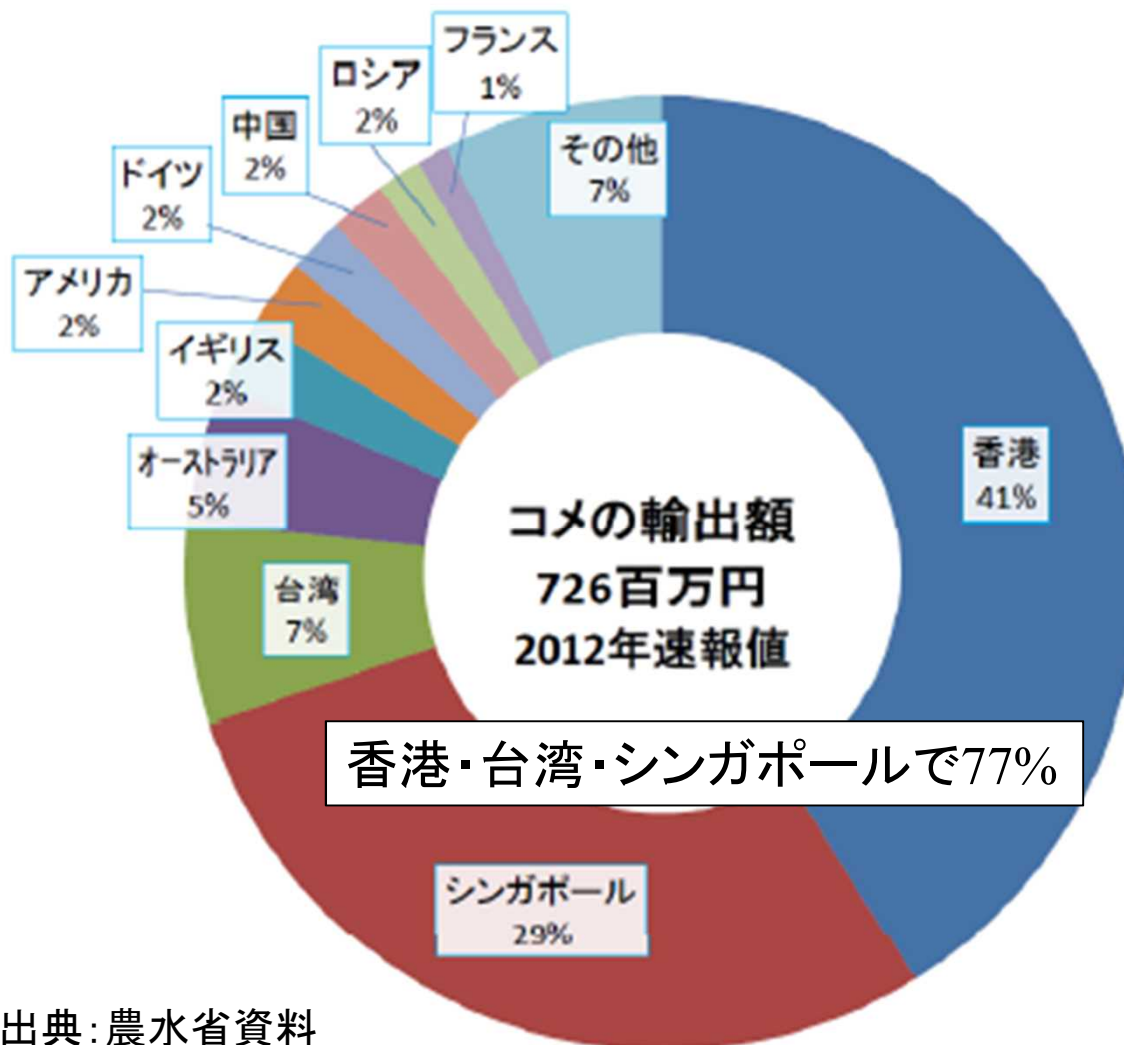
FDA Answers Farmers' Questions on the Proposed Rule for Produce Safety
Q&A with Mike Taylor, Deputy Commissioner for Foods and Veterinary Medicine

This toolkit provides resources to help small and medium-size growers better understand the FSMA proposed produce safety rule. New materials include:

JETROのホームページに案の日本語訳あり

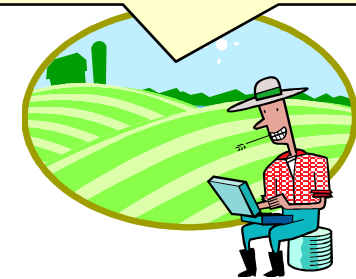
では、日本産農産物にも
GLOBALGAP認証が求められるのか？

日本産コメ 輸出実績（平成24年）



出典：農水省資料

俺のリンゴは輸出先から
GLOBALGAP認証が
求められた！
この販売先は重要だから
よし取り組もう！



結論：
GLOBALGAP認
証の要否は、
どこの、誰に、何
を売るかによる。

JGAPの基準書

日本GAP協会が発行している以下の基準書をダウンロードできます。 [>>印刷された冊子](#)

農場用 管理点と適合基準

JGAPの基準に、放射能への対応が追加されました。(青果物 2010、穀物 第2.1版、日本)
これにより、JGAP認証農場は「放射能についても安全管理が行われている農場」となりま
これまで通り、残留農薬・食中毒・異物混入についても管理されています。

基準書	基準書ファイル	審査・認証期間
青果物 2010		(2010年7月1日より審査・認証開始)
青果物 2010(英語) JGAP2010 Fruits and Vegetables		(2013年7月20日発表 審査・認証に利用可)
青果物2010 (中国語 簡体字版)		(2014年7月14日発表 審査・認証に利用可)
青果物2010 (中国語 中文正體版[台湾])		(2014年7月14日発表 審査・認証に利用可)
穀物 2012		(2012年9月1日より審査・認証開始)
穀物 第2.1版		(2013年8月31日まで審査・認証継続)
茶 2012		(2012年3月1日より審査・認証開始)
茶 2012(英語)		(2014年10月1日発表 審査・認証に利用可)

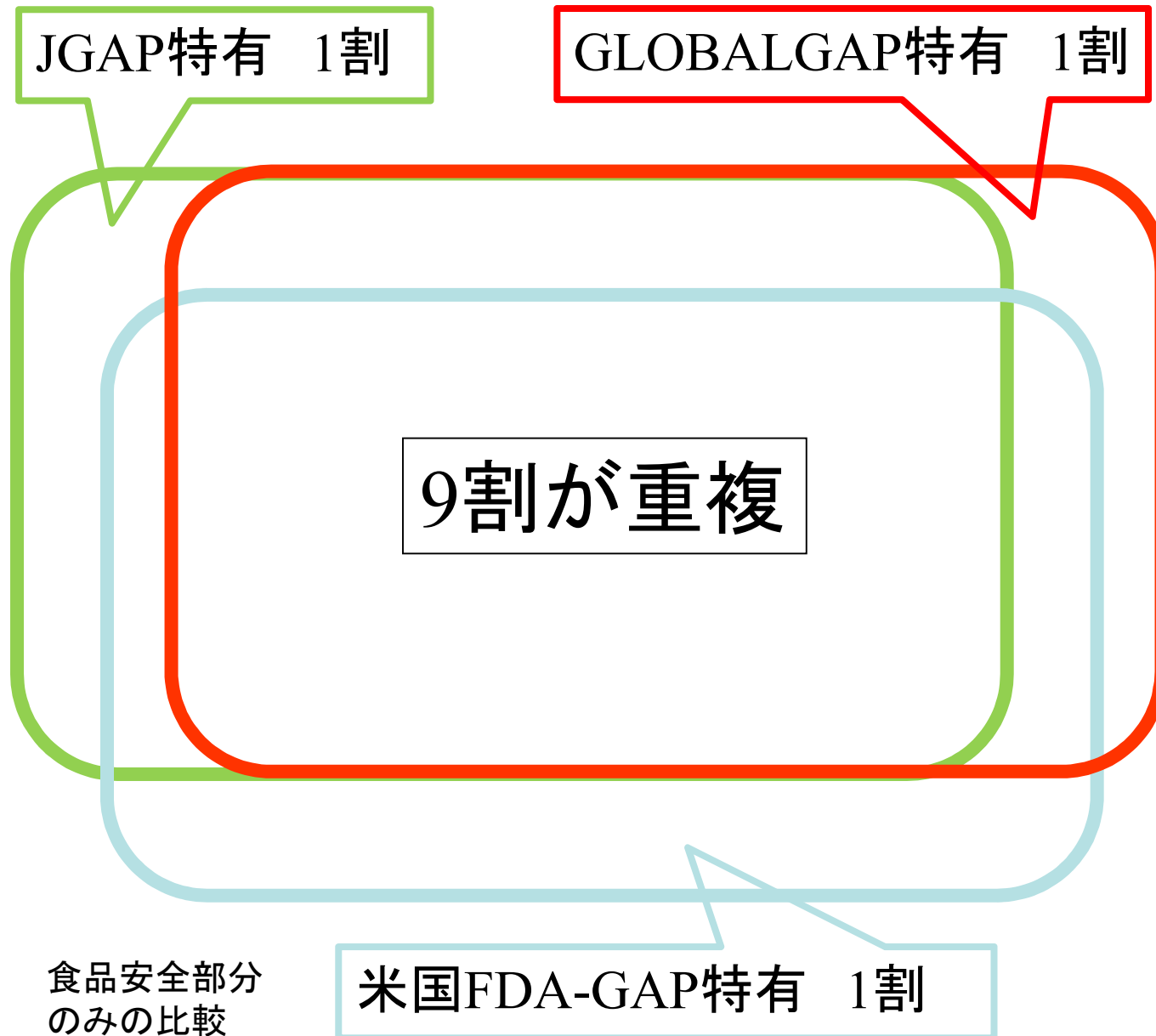
JGAPはすべての基準書がオープンであり、無料で提供されています。

日本国内では、認証制度を前提としたGAPとしてはJGAPが圧倒的ナンバーワンのラインナップです。

海外と比較しても、本格的なGAP認証制度として必要なものは全てそろっています。

英語版・中国語版もあります。

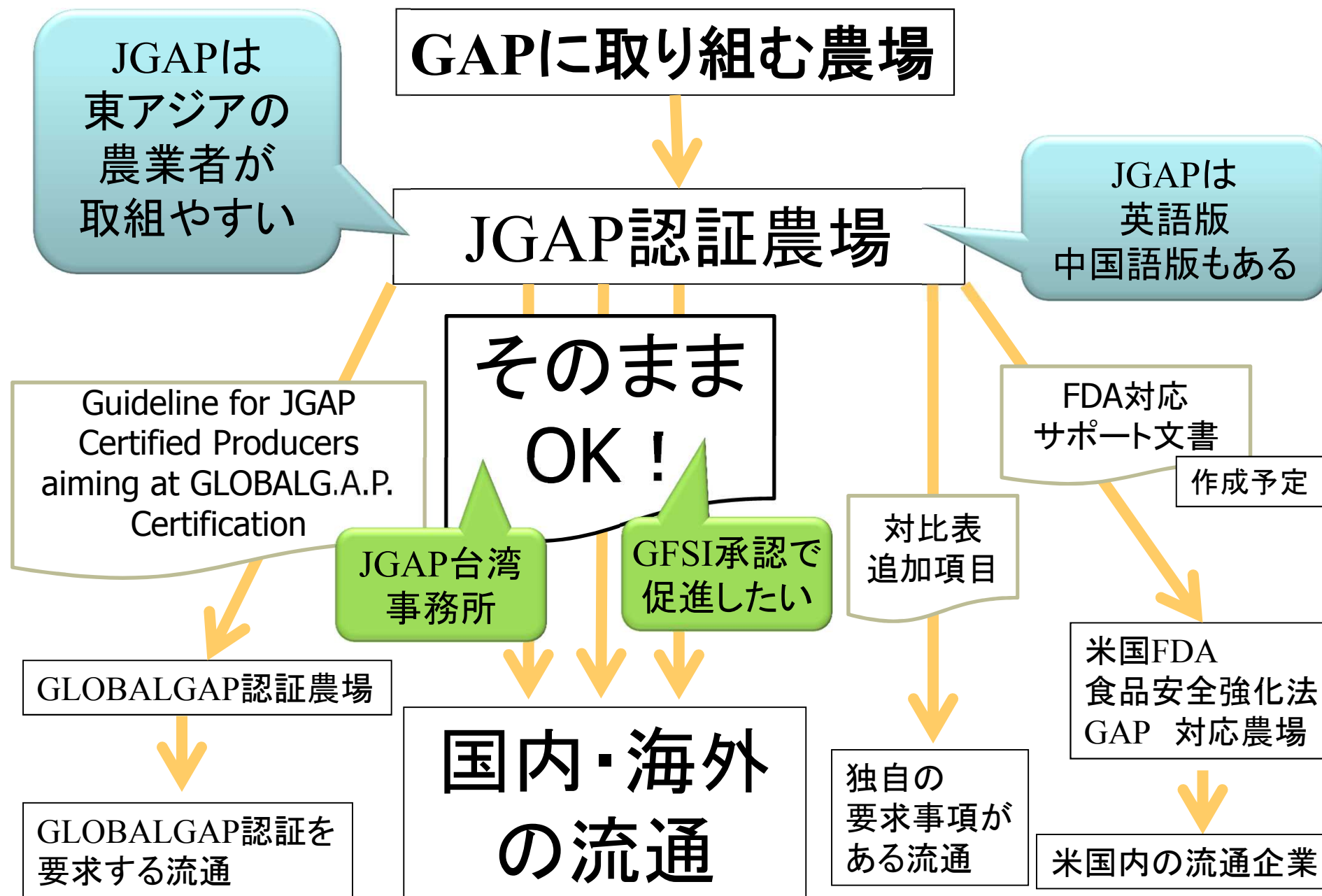
JGAPとGLOBALGAPと米国FDA-GAPの違い



- ❖ どのGAPが優れているかを比較するのはナンセンス。
- ❖ どこの誰に何を売のかによって、どのGAPの認証を取るべきか判断するのが一般的。
- ❖ GAPを作った人、想定している農業現場、重視する価値観、それらが異なればGAPも異なる。
- ❖ 例えば、米国FDA-GAPでは食品安全ですが、GLOBALGAPやJGAPでは環境保全も求められます。

JGAPは、全ての取引基準のゲートウェイ(入口)に！

JGAP



JGAPが台湾で拡大すると何が起こるか？



台湾向け輸出と現地生産候補地 視察ツアー(2015年1月11日)
詳しくは、日本GAP協会 事務局まで

非営利生産者マーケティング組織例：フロリダ州政府柑橘局 JGAP



日本人は
世界で最も
グレープフ
ルーツを
食べる民族。

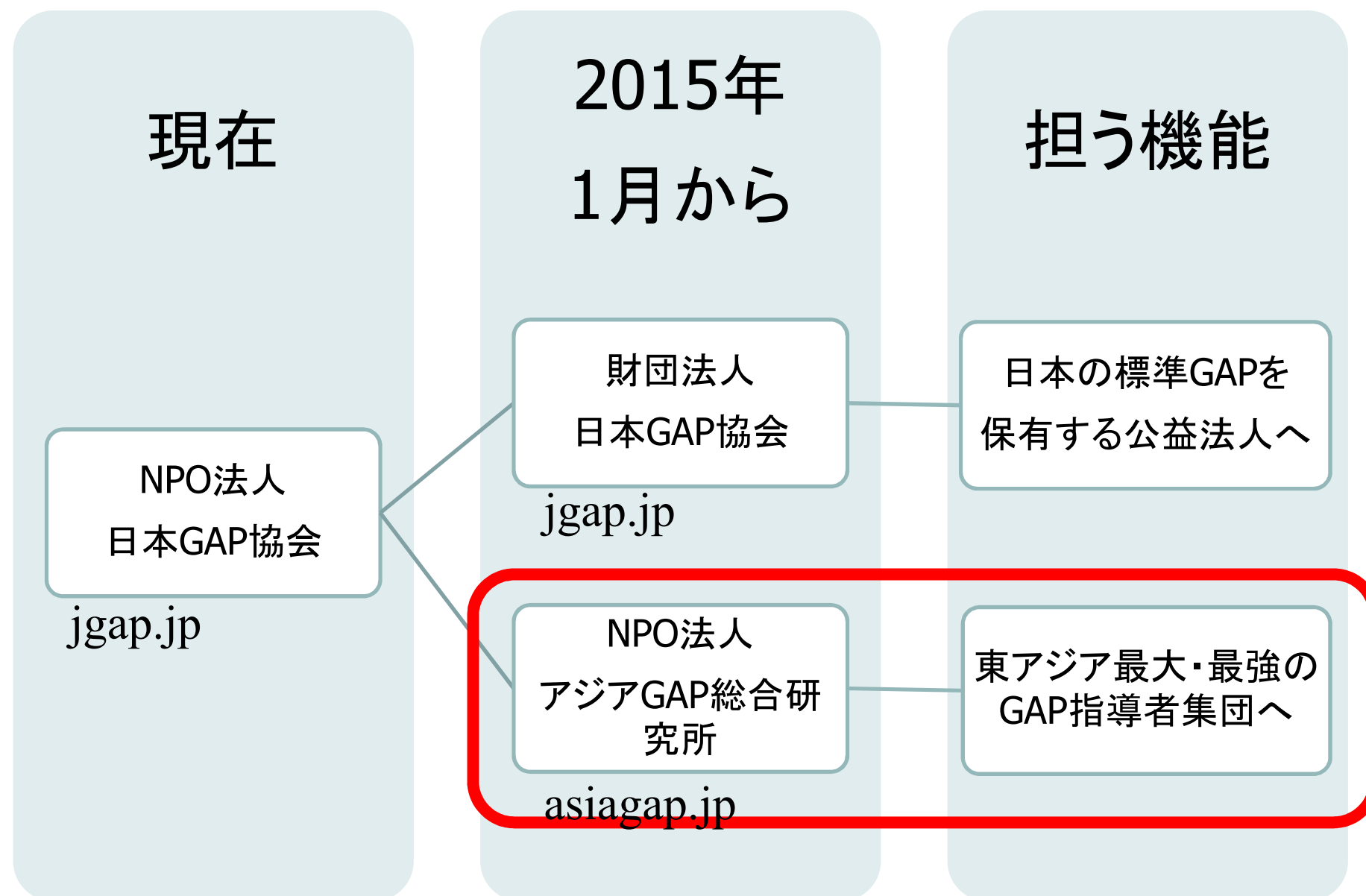
偶然にも
日本人が
たくさん
食べるよう
になった、

のではない。

非営利生産者マーケティング組織 事例



MARKETING AGENCY FOR FOOD, WINE & LIFESTYLE
Sopexa Japan, part of Sopexa Group



事業者（農業者・流通業者）がGAPを使いこなす支援に注力
- 東アジア最大・最強のGAP指導者集団へ -

GAP指導者の育成
と現地指導

- JGAPの指導と研修
- GLOBALGAPと米国FDA-GAPの指導と研修
- その他の国内外のGAPの指導と研修
- GAP指導者育成のための自社農場の運営
- 流通企業や食品メーカーの原料産地の指導・GAP導入支援

農産物と産地の
マーケティング支援

- 農業者主導の農産物ブランド化とマーケティング支援（品質管理体制を整えるためにGAPを活用）
- 例えば、産地リレーを伴う大規模な農産物ブランドづくりとマーケティング支援
- 例えば、その地域に限定された特産品のブランド化とマーケティング支援

日本の農業者のフィールド
は東アジアへ

- 東アジアを中心とした海外への日本産農産物の輸出支援
- 東アジアを中心とした海外での日本の農業者による現地生産の支援
- 農業技術の国際交流促進や、国境を越えた産地リレー構築など支援
- 台湾事務所と香港事務所（設置予定）が主にサポート

GAPの最新情報は

→ 日本GAP協会メルマガジン 無料配信中

info@jgap.jpへ「メルマガ希望」とメール下さい。

本日の講演資料が欲しい方は、後日メールでお送りしますので、
会場の出入口の担当者に名刺をお渡し下さい。

私たちは信頼できる農場の目印“JGAP”を創っています。
まじめで意欲ある農場が正しく評価される社会を創ることが目標です。

—NPO法人 日本GAP協会 —

〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3番29号 日本農業研究所ビル 4階

TEL: 03-5215-1112 / E-mail: info@jgap.jp / <http://jgap.jp>